

京都府国際センター日本語教室  
基礎クラス（A）カリキュラム

(H25. 9)

Aクラス 第1回	
目標行動	自己紹介ができる 物の名前を尋ねることができる
社会文化的情報	日本の挨拶ことばとおじぎの習慣
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名前／国／仕事は～です</li> <li>・お(名前、国、仕事)</li> <li>・挨拶表現                      ・おじぎの習慣</li> <li>・～は～です</li> <li>・これ／それ／あれ／何</li> <li>・(国名) の N                      ・どこの N</li> </ul>
ことば  表現	<p>名前 国 仕事 中国 韓国 タイ フィリピン アメリカ オーストラリア 先生 教師 学生 主婦 会社員 本 鉛筆 辞書 新聞 ノート 机 椅子 ボールペン 時計 かばん 傘 かぎ 水 地図 はい いいえ おはようございます こんにちはこんばんは ありがとうございます すみません どういたしまして はじめまして よろしくお祈いします</p>
会話例	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめまして。ジョン・ミラーです。よろしくお祈いします。</li> <li>2. A: お名前は。 B: リーです。</li> <li>3. A: お国は。 B: 中国です。</li> <li>4. A: お仕事は。 B: 学生です。</li> <li>5. これ／それ／あれは 地図です。</li> <li>6. A: それは本ですか。 B: いいえ、本じゃありません。これは新聞です。</li> <li>7. A: これは何ですか。 B: それは辞書です。</li> <li>8. A: それはどこの時計ですか。 B: これは日本の時計です。</li> </ol>
読む・書く	ひらがな (あ行～さ行)
文化庁カリキュラム 該当箇所	人とかかわる「自己紹介 (初対面の挨拶)」

Aクラス 第1回	
目標行動	自己紹介ができる 物の名前を尋ねることができる
授業の流れ	<p><b>【導入】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Tが自分の名札を見せながら自己紹介をする</li> <li>「はじめまして。〇〇です。よろしくお願いします」と言い、おじぎをする</li> </ul> <p><b>【教室活動】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「はじめまして」「〇〇です」「よろしくお願いします」それぞれの発音練習をする</li> <li>②Sの名前をひらがな又はカタカナで書いた名札を用意しておき、 Sはそれを使ってTがしたように自己紹介をする →会話例1</li> <li>③基本の挨拶をイラストで場面提示し、発音と使い分けの練習をする</li> <li>④「名前」「国」の意味を名札や地図を使って示し、また、仕事の例を挙げた後、 発音練習をする</li> <li>⑤「お名前／お国／お仕事」と「名前／国／仕事」の使い方を説明する 先生と教師の使い方も簡単に説明しておく</li> <li>⑥「お名前は」「お国は」「お仕事は」「〇〇です」のQ/Aをする 立ってS どうしてQ/Aをする →会話例2、3、4 自分の名前に「さん」をつけないように注意する</li> <li>⑦ことば・表現の後半を提示し、絵や写真などで意味を確認し、発音練習する</li> <li>⑧これ／それ／あれ／の用法を説明し、絵カードや実物を使って 「これ／それ／あれは～です」を練習する →会話例5</li> <li>⑨「これは～ですか」 「はい、そうです／～です」 「いいえ、～じゃありません／～です」を提示する 絵カードや実物などを使って、T→Sで練習する →会話例6</li> <li>⑩「これは何ですか」 「それは△△です」 「それは何ですか」 「これは〇〇です」 「あれは何ですか」 「あれは□□です」 絵カードや実物を使ってQ/Aをする →会話例7 Sに絵カードや実物を配り、S どうして物の名前を聞きあう</li> <li>⑪「それはどこの～ですか」「これは(国)の〇〇です」を提示する Sに絵カードや実物を配り、Q/Aをする 例) 時計 コーヒー ペンなど →会話例8 レベルに応じて「どこのですか」「(国)のです」に発展させてもよい</li> <li>⑫ひらがな(あ行～さ行)の単音、ことばの発音、読み書きの練習をする</li> </ol>

Aクラス 第2回-①	
目標行動	売り場を聞くことができる
社会文化的情報	量販店について
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・～は ここ／そこ／あそこ です</li> <li>・～はどこですか</li> <li>・数字（0～100）</li> <li>・助数詞（～階）</li> </ul>
ことば 表現	<p>スーパー デパート コンビニ レジ トイレ 受付 駅</p> <p>電気店にある商品の名前（テレビ 冷蔵庫 洗濯機 パソコンなど）</p> <p>もう一度お願いします</p>
会話例	<p>1. 受付はあそこです。</p> <p>2. A：トイレはどこですか。 B：そこです。</p> <p>3. A：すみません。パソコンは何階ですか。 店員：3階です。 A：もう一度お願いします。 店員：3階です。 A：ありがとうございます。</p>
読む・書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひらがな（た行～は行）</li> <li>・数字の聞き取り</li> </ul>
文化庁カリキュラム 該当箇所	欲しいものの場所を探す

A クラス 第2回-①	
目標行動	所在（売り場）を聞くことができる
授業の流れ	<p><b>【導入】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シート、写真、チラシなどで買いたいものを探す会話の場面を示す（店の写真など使用）</li> </ul> <p><b>【教室活動】</b></p> <p>①ことば・表現を提示、絵や写真などで意味を確認し、発音練習する</p> <p>②教室の中に建物やトイレのイラストや写真で、「ここ／そこ／あそこ」を提示して練習する →会話例1</p> <p>③絵カード、写真、実物などを示し、Tが「〇〇（パソコン、テレビなど）はどこですか」の例を示す 次にシート、写真などTが示したものにそって、Sが発話する 「〇〇はどこですか？」「〇〇は ここ／そこ／あそこ です」と S どうしで聞きあう →会話例2</p> <p>④「Nは何階ですか」「～階です」を提示する 「すみません」など呼びかけることばをまじえて、T→Sで練習する →会話例3</p> <p>⑤電気店でS どうしが店員と客になって、ほしい物の売り場を探す（実際に電気店に行って、練習するのもよい）</p> <p>⑥ひらがな「た行～は行」の表などを使って単音、ことばの発音、読み書きの練習をする</p>

Aクラス 第2回-②	
目標行動	施設などの営業時間を聞く
社会文化的情報	日本の施設の利用時間（銀行、郵便局、図書館、美術館など）
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時間</li> <li>・ 今、何時ですか</li> <li>・ ～は～時から～時までです</li> </ul>
ことば 表現	<p>午前 午後 ～時 半</p> <p>銀行 郵便局 病院 図書館 美術館 レストラン ATM</p> <p>営業時間 24時間営業</p>
会話例	<p>1. A：今、何時ですか。 B：5時です。</p> <p>2. A：デパートは何時から何時までですか。 B：10時から8時までです。</p> <p>「友人との会話」</p> <p>ミラー：田中さん、日本の銀行は何時から何時までですか。 田中：9時から3時までです。 ミラー：いま、何時ですか。 田中：4時です。 ATMは、8時までです。 コンビニは24時間ですよ。 ミラー：ああ、そうですか。</p>
読む・書く	
文化庁カリキュラム 該当箇所	公共施設を利用する

Aクラス 第2回-②	
目標行動	施設などの営業時間を聞く
授業の流れ	<p><b>【導入】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵や写真で施設名を確認</li> <li>・銀行やレストランの絵や写真に営業時間を合わせて提示する</li> </ul> <p><b>【教室活動】</b></p> <p>①ことば・表現を提示、絵や写真などで意味を確認し、発音練習する</p> <p>②時計などを使って、1時～12時、5分、10分、30分＝半など時間の言い方を練習する。「4時・9時」「ふん・ぷん」の発音に注意する (時間の読み方の表を使用する)</p> <p>③時計を示して、S どうして「今、何時ですか」「～時です」のQ/Aをする →会話例 1</p> <p>④Tが「日本の銀行は9時からです。3時までです」→ 「日本の銀行は9時から3時までです」を提示する 次に写真やイラストを使って、S どうしてQ/Aをする 例)「デパートは何時から何時までですか」「10時から8時までです」 →会話例 2</p> <p>⑤会話例「友人との会話」の場面、状況、内容を確認する 会話例をTが読み、練習する S どうして登場人物の役割を練習し、発表する</p> <p>⑥Sの国の銀行やデパートなど施設の営業時間を聞きあう</p>

Aクラス 第3回	
目標行動	ファストフード店やカフェで注文できる
社会文化的情報	飲食店のサービス
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひとつ～とお」「200～万」の読みと聞き取り</li> <li>・助数詞(円 枚)</li> <li>・外来語の日本語的発音(特に長音)に慣れる</li> </ul>
ことば  表現	<p>パスタ カレー サラダ ハンバーガー ホットドッグ ケーキ ドーナツ サンドイッチ アイスクリーム プリン 紅茶 ビール ジュース バッグ セーター CD 切手 おつり</p> <p>200～万 ひとつ～とお いくつ ～円 ～枚 ぜんぶで お(ひとつ/いくつ) いくらですか ～をください ～をおねがいます いらっしゃいませ</p>
会話例	<p>1. A: ケーキはいくらですか。 B: 300円です。</p> <p>2. リー: プリンをふたつと、これをみつつください。 店員: はい、ぜんぶで900円です。</p> <p>「ファストフード店で」 店員: いらっしゃいませ。 リー: (メニューを見ながら、指さして) これとこれとコーラをおねがいます。 店員: はい、ぜんぶで850円です。 リー: はい。(1000円を出す) 店員: 150円のおつりです。ありがとうございました。</p>
読む・書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ひらがな(ま行～ん)</li> <li>・ 漢字(円)</li> </ul>
文化庁カリキュラム 該当箇所	消費活動を行う「注文する」「買い物をする」



Aクラス 第3回	
目標行動	ファストフード店やカフェで注文できる 「円」に慣れる
授業の流れ	<p><b>【導入】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファストフード店やカフェ、弁当店などの写真(絵)とメニューのチラシなどで今回の行動目標をイメージする</li> </ul> <p><b>【教室活動】</b></p> <p>①ことば・表現を提示、絵や写真などで意味を確認し発音練習する</p> <p>②数詞 200～万の発音練習をする</p> <p>3<u>び</u>ゃく、4<u>ひ</u>ゃく 6<u>び</u>ゃく 8<u>び</u>ゃく の発音に注意する</p> <p>板書された数字を読んだり、言われた数字を板書するなどゲーム感覚ですすめる</p> <p>③「Nは～円です」を提示し、練習する</p> <p>ことば欄のNの写真(絵)に値段をつけたシートを用意しておいて</p> <p>「Nは～円です」の練習をする</p> <p>スーパーやデパートのチラシなどを利用してよい</p> <p>④「Nはいくらですか」を提示し、Nを入れかえて練習する</p> <p>ペアを組みインフォメーションギャップのQ/Aをする</p> <p>飲み物や食べ物に値段をつけた絵を作成しコピーする</p> <p>各々異なった物の値段を空欄にしたA B 2種類のプリントを用意し、S1がA、S2がBを持つ</p> <p>S1がプリントAの空白になっている値段を知るために、それが書かれているプリントBを持ったS2に「～はいくらですか」と尋ね空白を埋めていく。他のSも互いに同じようにすすめる</p> <p>例)「ケーキはいくらですか」「300円です」 →会話例1</p> <p>⑤マグネットや飴を数えながら「ひとつ～とお」を提示し、練習する</p> <p>他にどんな物に使うかも写真や絵で例示する</p> <p>⑥助数詞「枚」を提示し、どんな物に使うかを例示しながら練習する</p> <p>⑦④で空白を埋めたプリントを使い、SどうしでQ/Aをする</p> <p>例)「プリンはいつくらいですか」「～円です」</p> <p>⑧社会文化的情報を説明する</p> <p>例) ファストフード店やカフェなどの種類、禁煙席のマークなど写真を使って、紹介する</p> <p>⑨注文時や給仕依頼時の用語「Nをおねがいします」を提示し、Nを入れかえて練習する</p> <p>⑩「NとN」を練習する</p> <p>例) ケーキとプリン りんごとバナナ 本とえんぴつ など</p> <p>⑪「ぜんぶで～円です」を提示し、練習する</p> <p>⑫「Nをください」を提示し、Nを入れかえて、練習する</p>

⑬ケーキ店などをイメージし、「～をふたつと、～をみつけてください」を提示する  
「～をふたつと、～をみつけてください」「ぜんぶで～円です」をペアで練習する  
例)「プリンをふたつと、これをみつけてください」「ぜんぶで900円です」

→会話例2

⑭会話例「ファストフード店で」の場面、状況、内容を確認する

会話例をTが読み、役割練習をする

Tが店員、Sが客ですすめ慣れてからS どうしでする

⑮ペアを組み応用練習する

色々な飲食店の写真(絵)とそのメニューを掲示する

各ペアはその中から自由に希望の場面を選び注文しあう

⑯ひらがな(ま行～ん)の単音とことばの発音、読み書きを練習する

⑰漢字「円」は意味理解を中心とする



Aクラス 第4回	
目標行動	自分の家族が紹介できる 自分の誕生日が言える
社会文化的情報	自分と相手の家族の呼称
指導内容	・数え方(人/年齢) ・家族の呼称 ・月日
ことば 表現	家族 両親 きょうだい 祖父 おじいさん 祖母 おばあさん 父 お父さん 母 お母さん 兄 お兄さん 姉 お姉さん 弟 弟さん 妹 妹さん 子ども 子どもさん だれ ひとり ふたり 3人～20人 何人 1～10才 20才(はたち) 何才 いくつ ～月 ～日 ついたち～31日 何月 何日 誕生日 エンジニア
会話例	1. A: 家族は何人ですか。 B: 4人です。 2. A: お父さんは何才(おいくつ)ですか。 B: 48才です。 3. A: 誕生日は何月何日ですか。 B: 5月11日です。  「私の家族」 私の家族は5人です。 父と母と兄と姉です。 父は50才です。会社員です。 母は48才です。主婦です。 兄は25才です。エンジニアです。 姉は22才です。学生です。
	・ ひらがな(濁音) ・ 漢字(人 ○月○日)
文化庁カリキュラム 該当箇所	人とかかわる「文化的相違を理解する」

Aクラス 第4回	
目標行動	自分の家族が紹介できる 自分の誕生日が言える
授業の流れ	<p><b>【導入】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Tが家族の写真や絵を見せ、簡単に紹介をする</li> </ul> <p><b>【教室活動】</b></p> <p>①ことば・表現を提示、絵や写真などで意味を確認し、発音練習する</p> <p>②私の家族図(絵)を掲示し、家族の呼び方を練習する</p> <p>例) 祖父 両親 母 兄 こども など</p> <p>相手 (例: 小野さん)の家族図を並べて掲示し、呼称の違いを説明する</p> <p>例) おじいさん ご両親 お母さん お兄さん お子さん(子どもさん) など</p> <p>③人数を示した絵で「ひとり／～にん」を提示し、練習をする</p> <p>1、9、14、19人の発音に注意する</p> <p>④②の家族図を見ながら「家族／きょうだい は～人です」の練習をし、人数を代入しながらS どうしでQ/Aをする</p> <p>例) 「家族は何人ですか」「4人です」 →会話例 1</p> <p>⑤「～才」を提示し、練習をする。1、4、7、8、9、10、20才に注意する</p> <p>②の家族図に数字を添えながら「～は何才(おいくつ)ですか」「～才です」のQ/Aをする</p> <p>T→S 1で例示してから、S どうしで練習する →会話例 2</p> <p>⑥〇月〇日の言い方を提示し、練習する →会話例 3</p> <p>⑦会話例「私の家族」の場面、状況、内容を確認する</p> <p>Tが読み、全員で練習する</p> <p>⑧応用練習をする</p> <p>ペアを組み各々の家族紹介をした後、クラスにペア相手の家族を紹介する</p> <p>予め家族の写真を持ってくるよう伝えておくといよい</p> <p>また、Tが適当に架空の家族の絵や写真を用意しておき、ペアによってはそれを用いて会話してもよい</p> <p>⑨ひらがな(濁音)の単音とことばの発音、読み書きの練習をする</p> <p>⑩漢字(人にん)は 数字といっしょに板書し、ひとり、ふたり、3人・・・と数えて練習する</p>

Aクラス 第5回	
目標行動	目的地を尋ねることができる
社会文化的情報	標識や交番などのマークについて
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・～にあります/います</li> <li>・Nの(位置詞)に ・(乗り物)～で ・～から～まで(場所)</li> </ul>
ことば	あります/います
表現	<p>人 猫 犬 車 電車 自転車 バス停 家 部屋 ビル 公園 交番</p> <p>右 左 上 下 中 前 後 間 隣 横</p> <p>歩いて (乗り物)で ぐらい(時間) どのぐらい(時間) この近くに</p> <p>ちょっとすみません どうもありがとうございました。</p>
会話例	<p>1. かばんはいすの下にあります。</p> <p>2. A: ペンはどこにありますか。 B: 机の上にあります。</p> <p>3. A: マリアさんはどこにいますか。 B: あそこにいます。</p> <p>4. A: 郵便局はどこにありますか。 B: 病院の隣にあります。</p> <p>5. A: ここから銀行までどのぐらいですか。 B: 自転車で3分ぐらいです。</p> <p>「街角で」</p> <p>マリア: ちょっとすみません。 この近くにATMはありますか。</p> <p>日本人: ありますよ。コンビニの中にあります。 歩いて1分ぐらいですよ。</p> <p>マリア: どうもありがとうございました。</p> <p>日本人: どういたしまして。</p>
読む・書く	・ひらがな(半濁音)
文化庁カリキュラム 該当箇所	目的地に自力で移動する「わからない場所を人に聞く」

Aクラス 第5回	
目標行動	目的地を尋ねることができる
授業の流れ	<p><b>【導入】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・街角の写真でTの居場所をイメージする</li> <li>・ATMの写真を置き、「ATMはどこ、どこですか」と言いながら探している状況をつくる</li> </ul> <p><b>【教室活動】</b></p> <p>①ことばを提示し、絵や写真、実物などで意味を確認し、発音練習する</p> <p>②位置詞を提示し、練習する 「NはNの上にあります」 →会話例1 「隣」は人と人、建物と建物など同類のもののみを使うことを説明する</p> <p>③「Nはどこにありますか」「Nの～にあります」を提示し、練習する T→S、Sどうしで練習する 例「ペンはどこにありますか」「机の上にあります」 →会話例2</p> <p>④人と動物には「います」を使うことを説明する 各Sの場所を利用し「Sさんはここです、ここにいます」と例示し、 「～は～にいます/いません」を提示する Sとここ/そこ/あそこを入れかえて練習する</p> <p>⑤T→S1で「S2さんはどこにいますか」と例示し、S1→S2と順に続けて 「～はどこにいますか」「～はここ/そこ/あそこにいます」のQ/Aをする 例「マリアさんはどこにいますか」「あそこにいます」 →会話例3</p> <p>⑥公共施設などを記した街のイラストを見ながら、SどうしでQ/Aをする 例「郵便局はどこにありますか」「病院の隣にあります」 →会話例4</p> <p>⑦京都の地図を見ながら、Tの家からセンターまでを例にして、 「センターから私の家まで(移動手段)で(時間)ぐらいです」を提示する 「～から～まで～ぐらいです」「～で～ぐらいです」の順に口慣らしをする T→Sで「～から～まで～でどのぐらいですか」と尋ね、「～ぐらいです」の答えを導き、同じようにSどうしでQ/Aをする 例「ここから銀行までどのぐらいですか」「自転車で3分ぐらいです」 →会話例5</p> <p>⑧会話例「街角で」の場面、状況、内容を確認する Tが読み、練習する Sどうしで登場人物の役割練習をする</p> <p>⑨社会文化的情報を写真やイラストなどで示す</p> <p>⑩ひらがな(半濁音)の単音とことばの発音、読み書きを練習する</p>

Aクラス 第6回	
目標行動	行き先を確かめてバスや電車に乗ることができる
社会文化的情報	切符の案内 (大人／子ども、乗車カード、割引切符、回数券、一日乗車券など)
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行きます 来ます 帰ります</li> <li>・(場所) へ／から／まで</li> <li>・～といっしょに ～人で</li> <li>・いつ (時)に</li> </ul>
ことば 表現	<p>行きます 来ます 帰ります  タクシー バス 新幹線 飛行機 きっぷ バス停 金閣寺  朝 昼 夜／晩 昨日 今日 明日 去年 今年 来年 ～年 ～曜日 いつ  いっしょに ひとりで ふたりで ～人で  205番</p>
会話例	<p>1. A: 明日どこへ行きますか。  B: 東京へ行きます。</p> <p>2. A: 今日どこへ行きますか。  B: どこへも行きません。</p> <p>3. A: いつ行きますか。  B: 5月3日に行きます。</p> <p>4. A: 去年奈良へ行きました。  B: だれと行きましたか。  A: 家族と一緒に行きました。</p> <p>5. A: センターへ何時に来ますか。  B: 10時に来ます。  A: 何で来ますか。  B: バスで来ます。</p> <p>6. 来年国へ帰ります。</p> <p>「バス停で」  リー : このバスは金閣寺へ行きますか。  日本人: いいえ、行きません。205番は行きます。  リー : ここから金閣寺までどのぐらいですか。  日本人: 40分ぐらいです。  リー : ありがとうございます。</p>
読む・書く	・ひらがな (促音)
文化庁カリキュラム 該当箇所	目的地に移動する「公共交通機関を利用する」



Aクラス 第6回	
目標行動	行き先を確かめてバスや電車に乗ることができる
授業の流れ	<p><b>【導入】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通機関の写真などを見せて、乗車券の種類などの説明をする、</li> </ul> <p><b>【教室活動】</b></p> <p>①ことば・表現を提示、絵や写真などで意味を確認し、発音練習をする</p> <p>②地域にある有名な場所、施設、また日本の観光名所などの写真で名称確認後、「～へ行きます」「～へ行きません」の練習をする</p> <p>③提示した場所などを参考に、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「どこへ行きますか」「～へ行きます」の Q/A をする →会話例 1</li> <li>「どこへも行きません」も紹介する →会話例 2</li> </ul> <p>④「(時)に」のルールを説明し、「時」をキューで提示して口頭練習をする、</p> <p>例) 今日行きます／9月に行きます</p> <p>⑤時制を加えて、過去表現も練習する</p> <p>例) 「昨日 学校へ行きました／行きませんでした」</p> <p>⑥以下連続性を持たせて Q/A をする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「いつ～へ行きますか／行きましたか」「～に行きます／行きました」 →会話例 3</li> <li>「だれと (いっしょに) 行きますか／行きましたか」</li> <li>「～いっしょに行きます／行きました」 →会話例 4</li> <li>「何で行きますか／行きましたか」「～で行きます／行きました」</li> </ul> <p>⑦「行きます／来ます」の用法を示してから、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「何時に来ますか」「～時に来ます」</li> <li>「何で来ますか」「～で来ます」などの Q/A をする →会話例 5</li> </ul> <p>⑧「帰ります」の用法を紹介して、これまでと同様の Q/A をする →会話例 6</p> <p>⑨会話例「バス停で」の場面、状況、内容を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>T が読み、発音練習する</li> <li>S どうして登場人物の役割練習をし、発表する</li> </ul> <p>⑩ひらがな（促音）の単音、ことばの発音、読み書きの練習をする</p> <p>拍指導をし、「切手／来て」のようなよく似た音の単語の聞き取り練習などをしてよい</p>

Aクラス 第7回	
目標行動	乗り物での忘れ物を届け出ることができる
社会文化的情報	忘れ物窓口紹介（駅構内、バス会社の管轄営業所、交番）
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・い adj. な adj.</li> <li>・(い adj./な adj.) + (N) です どんな (N) ですか</li> <li>・(い adj./な adj.) です ～は どうですか</li> </ul>
ことば	<p>大きい／小さい 高い／安い 重い／軽い 暑い／寒い いい／悪い  多い／少ない 難しい／易しい 新しい／古い 忙しい／ひま  静か／にぎやか うるさい おもしろい おいしい 楽しい  赤い 青い 白い 黒い 元気 親切 きれい 便利 有名  財布 忘れ物窓口 すこし あまり どんな どう</p>
表現	忘れ物をしました 見つかりましたら連絡します
会話例	<p>1. A: 京都は静かですか。 B: はい、静かです／いいえ、静かじゃありません。</p> <p>2. A: そのかばんは軽いですか。 B: はい、軽いです／いいえ、軽くないです。</p> <p>3. A: リーさんはどんな人ですか。 B: 親切な人です。</p> <p>4. A: 日本語はどうですか。 B: おもしろいです。</p> <p>「忘れ物窓口で」  マリア : すみません、電車で忘れ物をしました。  駅員 : 忘れ物は何ですか。  マリア : かばんです。  駅員 : どんなかばんですか。  マリア : 黒いかばんです。  駅員 : 大きいですか。  マリア : はい、大きいです。  駅員 : かばんの中は何ですか。  マリア : ノートパソコンです。  駅員 : そうですか。見つかりましたら、連絡します。</p>
読む・書く	・ひらがな（長音）
文化庁カリキュラム 該当箇所	安全に暮らす「忘れ物、落し物への対処」

A クラス 第7回	
目標行動	乗り物での忘れ物を届け出ることができる
授業の流れ	<p><b>【導入】</b> 電車の中に忘れ物をした状況を、絵やジェスチャーで示し、「わたしは (いつ) 忘れ物をしました」と経験を話す</p> <p><b>【教室活動】</b></p> <p>①ことば・表現を提示し、絵や写真などで意味を確認し、発音練習をする</p> <p>②「い adj.」「な adj.」を区分して絵で提示し、練習する 対話のあるものはそれもあわせて練習する</p> <p>③絵や写真、実物を示して、 「い adj.+N」「な adj.+N」の練習をする 例)「長い傘」「きれいな部屋」 「～は ～い／～な (N) です」の練習をする 例)「これは新しい靴です」「それは便利な椅子です」 「～は (い adj./な adj.) です」の練習をする 例)「これは新しいです」「それは便利です」</p> <p>④な adj.の否定形を練習し、絵や写真などを示して、 「～は な adj.ですか」「はい、な adj.です／いいえ、な adj.じゃありません」 の Q/A をする →会話例 1</p> <p>⑤い adj.の否定形を練習し、④と同じ様に、 「～は い adj.ですか」「はい、～です／いいえ、～くないです」の Q/A をする →会話例 2</p> <p>⑥目の前にあるものから話題を広げて、 「～は どんな(N)ですか」「～い／～な(N)です」の Q/A をする 例) ともだち 自転車 ○○駅など →会話例 3 「～はどうですか」「～は (い adj./な adj.) です」の Q/A をする 例) 日本語 京都 日本料理など →会話例 4</p> <p>⑦会話例「忘れ物窓口で」の場面、状況、内容を確認する T が会話例を読み、発音練習する S どうして登場人物の役割練習をする</p> <p>⑧忘れ物発見ゲームをする 忘れ物カード (色、大きさ、中身を少しずつ違えたカード各 1 枚ずつ) を 2 組準備する 1 組を全部並べるかボードに掲示する もう 1 組から S1 が 1 枚引き、他の S がそのカードについて質問し、S1 が 自分のカードを見て答える 他の S が並んだカードの中から、S1 のカードを見つける S1, S2…と順番に繰り返す</p> <p>⑩ひらがな (長音) の単音、ことばの発音、読み書きの練習をする</p>

Aクラス 第8回	
目標行動	旅行の感想を述べる
社会文化的情報	地域の名所、観光施設の紹介 観光案内冊子（センターにある各国語版など） 旅行パンフレット
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・～はどうでしたか</li> <li>・～はAdj.でした</li> <li>・～は～がAdj.です／でした</li> <li>・それに ても</li> </ul>
ことば 表現	日本料理 清水寺 富士山 沖縄 海 首里城 (お)寺 神社 ところ 町 物価 地下鉄 桜 そば ～ね そうですね ええ
会話例	<p>1. A: 日本料理はどうですか。 B: とてもおいしいです。 C: おいしいです。それに、きれいです。 D: おいしいです。でも、高いです。</p> <p>2. A: 京都のどこへ行きましたか。 B: 清水寺へ行きました。 A: どうでしたか。 B: とてもよかったです。</p> <p>3. 日本は富士山が有名です。</p> <p>「沖縄はどうでしたか」 山田 : 沖縄はどうでしたか。 ミラー: とてもよかったです。 海がきれいでした。それに、食べ物がおいしかったです。 山田 : 何がおいしかったですか。 ミラー: そうですね、沖縄そばがおいしかったです。 山田 : そうですね。沖縄は首里城が有名ですね。 首里城へ行きましたか。 ミラー: ええ、行きました。 山田 : どんなどころでしたか。 ミラー: とてもきれいなところでした。</p>
読む・書く	・ひらがな (拗音)
文化庁カリキュラム 該当箇所	自身を豊かにする 「余暇を楽しむ」

A クラス 第8回	
目標行動	旅行の感想を述べる
授業の流れ	<p><b>【導入】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地の写真や絵をみせて、Tが「いつ行ったか」「どうだったか」を話す</li> </ul> <p><b>【教室活動】</b></p> <p>①ことば・表現を提示、絵や写真などで意味を確認し、発音練習する</p> <p>②例えば、日本の料理（てんぷら、すし、うどん、おでん など）の写真や絵を見せて名前を確認してから、「日本料理はどうですか」とたずねる。 「とても、あまり、すこし」なども使うよう促す</p> <p>③プラス評価・マイナス評価に分けて板書し、 例) 「おいしいです。それに、きれいです」 (＋) それに、(＋) 「高いです。それに、おいしくないです」 (－) それに、(－) 「おいしいです。でも、高いです」 (＋) でも、(－) 「高いです。でも、おいしいです」 (－) でも、(＋) 使い方を提示し、板書の例で発話練習をする →会話例 1</p> <p>④S 全員に共通の話題で話す 「～はどうですか」「～は～です。それに／でも、～です」の Q/A をする 例) 京都 地下鉄など</p> <p>⑤い adj./な adj.それぞれの過去形を提示して、練習する 例) おもしろいです→おもしろかったです にぎやかです→にぎやかでした</p> <p>⑥S 個別の話題を取り上げる 日本でどこへ行ったか、また、海外でどこへ行ったかなどをたずね、 「どうでしたか」と過去表現の Q/A に導く →会話例 2</p> <p>⑦「N は N が Adj.です」の文型を提示し、例文をあげて用法を説明する 例) 「日本は富士山が有名です」「日本は物価が高いです」 →会話例 3 「日本はどうですか」「日本は～が～です」から始めて、話題を広げる Q/A の練習をする</p> <p>⑧会話例「沖縄はどうでしたか」の場面、状況、内容を確認する T が会話例を読み、発音練習する S どうして登場人物の役割練習をする</p> <p>⑨S が行った場所に入れ替えて、ペアで応用練習する ペア会話をみんなで聞き、さらに他の S から「いつ／どこ／なに」などの質問をするように促す 疑問の言葉のカードを作っておくとよい</p> <p>⑩ひらがな（拗音）の単音、ことばの発音、読み書きの練習をする 拍と発音に注意する</p>

Aクラス 第9回	
目標行動	病院で自分の体調を医師に伝えることができる 医師の簡単な指示が理解できる
社会文化的情報	病院、受診科の種類（総合病院、クリニック、内科、外科、眼科、歯科、耳鼻科など）
指導内容	・身体の名称 ・症状 ・どうしましたか ～が痛いです
ことば  表現	手 足 お腹 首 頭 顔 目 耳 鼻 口 歯 舌など 病気 かぜ 熱 ～度 アレルギー 受付 医者 2日前 食前 食後 痛い 1日～回 頭が痛いです お腹が痛いです 熱があります 咳がでます 気分が悪いです 風邪をひきました 口をあけてください お大事に 薬をのみます 薬を出します お風呂に入ります
会話例	1. A：どうしましたか。 B：お腹が痛いです。 2. A：いつからですか。 B：きのうからです。 3. 1日3回食前に飲んでください。  「クリニックで」 医者：どうしましたか。 リー：頭が痛いです。 医者：そうですか。 いつからですか。 リー：きのうからです。 医者：熱がありますね。 リー：はい。 医者：口をあけてください。 リー：はい。 医者：のどがあかいです。かぜですね。 薬を出します。1日3回食後に飲んでください。 リー：わかりました。ありがとうございました。 医者：お大事に。
読む・書く	・カタカナ（ア行～サ行）
文化庁カリキュラム 該当箇所	医療機関で治療を受ける

Aクラス 第9回	
目標行動	<p>病院で自分の体調を医師に伝えることができる</p> <p>医師の簡単な指示が理解できる</p>
授業の流れ	<p><b>【導入】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院の絵や写真、症状の絵や写真で病院に行く状況を示す</li> <li>・「風邪をひきました。病院へ行きますか、行きませんか」などを聞く</li> </ul> <p><b>【教室活動】</b></p> <p>①ことば・表現を提示、絵や写真で意味を確認し、発音練習する</p> <p>②絵で身体の名称を提示し、練習する 鼻や口などをさして、練習する</p> <p>③絵、動作などで症状を提示し、練習する</p> <p>④Tが症状の絵を示し、T→SでQ/Aする 例) T：どうしましたか S：頭が痛いです 次にS どうして練習する →会話例 1</p> <p>⑤Tが期間の文字カードを示し、T→SでQ/Aする 例) T：いつからですか S：きのうからです 次にS どうして練習する →会話例 2</p> <p>⑥薬の袋に記載の用語・用法を提示し、練習する 例) 1日2回 食前 →会話例 3</p> <p>⑦社会文化的情報について説明する</p> <p>⑧会話例「クリニックで」の場面、状況、内容を確認する 会話例をTが読み、練習する S どうして登場人物の役割練習をし、発表する</p> <p>⑨風邪をひいたとき、熱があるとき、頭が痛いとき、Sの国ではどんな対処をするかなど話し合う 例) 「熱いお風呂に入ります」「ホットワインを飲みます」 など</p> <p>⑩カタカナ（ア行～サ行）の単音の発音、読み書きの練習をする</p>

Aクラス 第10回	
目標行動	自分の日常生活について話すことができる
社会文化的情報	日本人の生活を紹介（学生、会社員）
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ NをVます／Vました</li> <li>・ (場所) でVます／Vました</li> <li>・ (時) にVます／Vました</li> </ul>
ことば表現	<p>食べます 飲みます 読みます 見ます 書きます 聞きます 買います  話しします 休みます 作ります 始まります 終わります 寝ます 起きます  働きます 電話をかけます シャワーを浴びます  勉強（買い物 洗濯 散歩 掃除 食事 メール パソコン 電話）をします  映画 音楽 料理 休みの日  たべもの のみもの  今朝 毎日 いつも ときどき ごろ それから  朝ごはん 昼ごはん 晩ごはん</p>
会話例	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. A：朝、何を食べますか。 B：くだものを食べます。</li> <li>2. A：今朝、朝ごはんを食べましたか。 B：いいえ、食べませんでした。</li> <li>3. A：きのう、何をしましたか。 B：映画を見ました。</li> <li>4. A：きのう、どこで晩ごはんを食べましたか。 B：友だちの家で食べました。</li> <li>5. A：日本語のクラスは何時に終わりますか。 B：12時半に終わります。</li> </ol> <p>「わたしの一日」  わたしはきょう7時に起きました。7時半に朝ごはんを食べました。  それから犬と散歩しました。  3時から友だちと映画を見ました。おもしろかったです。  それからレストランで晩ごはんを食べました。  10時に家へ帰りました。10時半にお風呂に入りました。  11時から11時半までパソコンをしました。12時に寝ました。</p>
読む・書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ カタカナ（タ行～ハ行）</li> </ul>
文化庁カリキュラム 該当箇所	自身を豊かにする



目標行動	自分の日常生活について話することができる
授業の流れ	<p><b>【導入】</b>          ・絵などで一日の生活の流れを見せながら、Tが自分の一日を話して例を示す</p> <p><b>【教室活動】</b></p> <p>①ことば、表現を提示、絵や写真などで意味を確認し、練習する</p> <p>②「Nを食べます」を練習する          絵カードや写真、文字カードを使用して「たべもの」と「食べます」、その間に助詞「を」を入れて「Nを食べます」を提示、Nを入れかえて練習する</p> <p>③「何を食べますか」を練習する          助詞「を」「食べます」を提示し、「何を食べますか」          「Nを食べます」を練習する。Nを入れかえてQ/Aをする →会話例1</p> <p>④否定形「Nを食べません」を練習する          Nを入れかえて練習する          「何も食べません」も提示、練習する</p> <p>⑤「Nを飲みます」を提示し、②～④と同じように練習する</p> <p>⑥「きのう」「今朝」など時を表すことばをつけて「食べます」「飲みます」の過去形・過去否定形をNを入れかえて、練習する          例)「今朝、コーヒーを飲みましたか」          「はい、飲みました/いいえ、飲みませんでした」 →会話例2</p> <p>⑦その他のVも練習する →会話例3</p> <p>⑧「(場所) でNをVます」を練習する          例)「レストランでごはんを食べます」など場所と動詞を入れかえて練習する →会話例4</p> <p>⑨「(時) にVます」を練習する          例)「7時に起きます」「8時にごはんを食べます」など時間と動詞を入れかえて練習する →会話例5</p> <p>⑩社会文化的情報として、ある日本人の生活をイラストなどで紹介する          例) 会社員の場合 「会社は9時から5時までです…」など</p> <p>⑪会話例「わたしの一日」を読み、内容を確認し、練習する</p> <p>⑫わたしの一日をワークシートを使って、ペアで質問しあう          例)「Sさんは何時に起きますか。朝ごはんは何を食べますか」などシートが完成したら、ペアの相手の一日をみんなに紹介する</p> <p>⑬カタカナ(タ～ホ)の単音とことばの発音、読み書きを練習する</p>

Aクラス 第11回	
目標行動	贈り物について話することができる
社会文化的情報	日本の贈り物の習慣について
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(人) にNをVます/Vました</li> <li>・あげます/もらいます</li> </ul>
ことば 表現	あげます もらいます クッキー チョコレート バレンタインデー ホワイトデー クリスマス 誕生日 彼女 彼 色 プレゼント
会話例	1. A: Bさん、毎日家族に電話をかけますか。 B: いいえ、かけません。 ときどきメールをします。 2. A: 誰にメールしますか。 B: 家族にメールします。 3. Bさんにクッキーをあげます。 4. A: クリスマスに誰にプレゼントをあげますか。 B: 彼女(彼)にあげます。 5. A: きれいな色のセーターですね。 B: ありがとう。誕生日にももらいました。 6. A: 誕生日に誰にプレゼントをもらいましたか。 B: 友だちに本とカードをもらいました。 「バレンタインデー」 A: 日本ではバレンタインデーに、女の人が男の人にチョコレートをあげます。 Bさんの国ではどうですか。 B: わたしの国では、友だちや両親に花やカードをあげます。 わたしも友だちや両親に花やカードをもらいます。 A: そうですか。 3月14日はホワイトデーです。男の人が女の人にプレゼントをあげます。
読む・書く	・カタカナ (マ行～ン)
文化庁カリキュラム 該当箇所	人とかかわる

Aクラス 第11回	
目標行動	贈り物について話すことができる
授業の流れ	<p><b>【導入】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生日のプレゼントについて質問する</li> </ul> <p><b>【教室活動】</b></p> <p>①ことば・表現を提示し、絵や写真などで意味を確認し発音練習する。</p> <p>②「(人) にVます」を提示する  例)「友だちにメールします／電話します」など  人と動詞を入れかえて練習する →会話例 1</p> <p>③「誰にVますか／Vましたか」も練習する  →会話例 2</p> <p>④「(人) にあげます」を提示する  「わたしはSさんにクッキーをあげます」と言ってTがSにクッキーをあげる  T→S S→S で繰り返し練習する  その後会話例 3を読み、Nを入れかえてS どうしで練習する →会話例 3</p> <p>⑤「誰にあげましたか」を提示する  例)「Sさんは誰にNをあげましたか」クッキーや身近にあるペンなどの小物を使って実際のやり取りを練習する  その後会話例 4を読み、どんなとき誰に何をあげるか、S どうしでQ/A練習する →会話例 4</p> <p>⑥「もらいます」を提示する  ④と同じように、クッキーなどのやり取りをしながら、もらいますの練習をする →会話例 5</p> <p>⑦「誰にもらいましたか」を提示する  ⑤と同じように練習する →会話例 6</p> <p>⑧誕生日に友だちからプレゼントをもらう絵などを見ながら  「Aさんは誰に何をもらいましたか／あげましたか」のQ/Aをする</p> <p>⑨会話例「バレンタインデー」の場面、状況、内容を確認する  会話例をTが読み、練習する  S どうしで登場人物の役割練習をし、発表する</p> <p>⑩日本のバレンタインデーは女性が男性にチョコレートをあげるが、Sの国ではどうなのか、各国の習慣の違いについて話し合う。</p> <p>⑪友人や知人の家に行ったことがあるか、招いたことがあるか、何を持って行ったか、何をもらったか、何をしたかなど聞きあう</p> <p>⑫日本の贈り物の習慣について紹介する</p> <p>⑬カタカナ（マ行～ン）の単音とことばの発音、読み書きを練習する</p>

Aクラス 第12回	
目標行動	図書館を利用する
社会文化的情報	公共施設(図書館、公民館など)の利用方法
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Nができます</li> <li>・V辞書形+ことができます</li> </ul>
ことば	<p>できます 使います 弾きます 泳ぎます 描きます 歌います 踊ります 借ります 返します</p> <p>運転 旅行 絵 歌 箸 ピアノ ギター ダンス DVD 留学生 住所 電話番号 申込み用紙 カード 在留カード</p>
表現	持っていますか ～週間 わかりました
会話例	<p>1. A: 車の運転ができますか。 B: はい、できます。/いいえ、できません。</p> <p>2. A: ひらがなを書くことができますか。 B: はい、できます。/いいえ、できません。</p> <p>3. A: 日本の図書館でCDを借りることができますか。 B: はい、できますよ。DVDも借りることができます。</p> <p>「図書館で」 リー: すみません、留学生です。本を借りることができますか。 館員: ええ、できますよ。一人5冊、3週間借りることができます。 在留カードを持っていますか。 リー: はい。 館員: 日本語を書くことができますか。 リー: はい、できます。 館員: 申込み用紙です。名前と住所、電話番号をお願いします。 カードを作ります。 リー: はい、わかりました。</p>
読む・書く	・カタカナ (濁音/半濁音)
文化庁カリキュラム 該当箇所	自身を豊かにする「地域の公共施設を利用する」

Aクラス 第12回	
目標行動	図書館を利用する
授業の流れ	<p><b>【導入】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の図書館の紹介(所在、図書館カードなど)をする</li> <li>・自国の図書館について聞く</li> </ul> <p><b>【教室活動】</b></p> <p>①ことば・表現を提示し、絵や写真などで意味を確認し発音練習をする</p> <p>②「～ができます/できません」を提示する  例) 私はスキーをします→スキーができます  私は運転をします→運転ができます  できること、できないことを発表する  例) 日本語/料理/テニス/ダンス など</p> <p>③「～ができますか」のQ/Aをする →会話例1</p> <p>④「辞書形」を提示する  例) ひらがなを書きます→ひらがなを書くことができます  ピアノを弾きます→ピアノを弾くことができます  「こと」の前には「辞書形」を用いることを説明する  辞書を使い「書きます」「弾きます」などの語が見出し語にあるか探す  次に「書く」「弾く」などの見出し語を辞書で調べ、この形が「辞書形」であることを確認する</p> <p>⑤既習動詞を使い、動詞は3つのグループに分かれることを説明し、辞書形の作り方を説明する  I グループ 「_(i)ます→_(u)」  II グループ 「_ます→_る」 例外「_(i)ます」があることも説明する  III グループ 「します→する/来ます→来る」</p> <p>⑥既習動詞について「ます形」から「辞書形」への変換練習をする  (動詞のグループII→III→Iの順に練習する)</p> <p>⑦できること、できないこと「V辞書形+ことができます」のQ/Aをする  例) 「泳ぐことができますか」「はい、できます」  漢字を読む/韓国語を話す/ギターを弾く/車を運転する などの文で  Tが聞きSが答える。同様にSどうしてQ/Aをする →会話例2</p> <p>⑧Sの国の図書館でできることについてQ/Aをする  例) 「辞書を借りることができますか」「いいえ、できません」  雑誌を借りる/ビデオを見る/PCを使う/食事をする などについて  Tが聞きSが答え、同様にSどうしてQ/Aをする  →会話例3</p> <p>⑨会話例「図書館で」の場面、状況、内容を確認する  会話例をTが読み、練習をする</p> <p>⑩カタカナ(濁音、半濁音)の発音、読み書きの練習をする</p>

Aクラス 第13回	
目標行動	趣味について話す
社会文化的情報	日本の伝統的な趣味やスポーツ
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・趣味はNです</li> <li>・趣味はV辞書形+ことです</li> <li>・Nが好きです</li> <li>・V辞書形+ことが好きです</li> <li>・Nが得意です</li> </ul>
ことば	<p>集めます 撮ります</p> <p>好き 大好き 嫌い 得意 苦手 上手 下手 たくさん</p> <p>趣味 写真 景色 静岡</p> <p>果物 りんご みかん バナナ ぶどう いちご メロン すいか</p> <p>野菜 きゅうり ほうれんそう にんじん ピーマン じゃがいも トマト</p> <p>すき焼き 天ぷら 刺身 寿司</p> <p>動物 馬 牛 ウサギ ライオン パンダ</p> <p>スポーツ テニス 野球 ピンポン 水泳 サッカー 柔道 相撲</p>
表現	ぜひ見せてください いいですよ
会話例	<p>1. A: 私の趣味は絵です。 B: 私の趣味は写真を撮ることです。</p> <p>2. A: 趣味は何ですか。 B: スポーツを見ることです。 A: どんなスポーツを見ますか。 B: サッカーです。 A: そうですか。</p> <p>3. A: 野菜の中で何が好きですか/嫌いですか。 B: トマトが好きです。 C: 私はにんじんが嫌いです。</p> <p>4. A: 家で日本料理を作りますか。 B: いいえ、作りません。料理が好きじゃありません。</p> <p>5. A: 私はピアノを弾くことが好きです。Bさんは。 B: 私は、歌うことが好きです。</p> <p>6. A: 私は料理が得意です。 B: 私はちょっと苦手です。</p> <p>「趣味は何ですか」</p> <p>田中: リーさんの趣味は何ですか。 リー: 絵を描くことです。 田中: そうですか。私も絵を描くことが好きです。 でもあまり上手じゃありません。リーさんは、どんな絵を描きますか。 リー: 山の絵です。日本はきれいな山がたくさんあります。</p>

	<p>先週、静岡へ行きました。そこで富士山を描きました。</p> <p>田中：ああ、そうですか。ぜひ見せてください。</p> <p>リー：いいですよ。</p>
読む・書く	・カタカナ（拗音／捉音）
文化庁カリキュラム 該当箇所	人とかかわる「人と付き合う」

Aクラス 第13回	
目標行動	趣味について話す
授業の流れ	<p><b>【導入】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな趣味を挙げる</li> <li>・日本の伝統的な趣味やスポーツを写真、絵などで紹介する (生け花、日本舞踊、将棋、盆栽、相撲、柔道、弓道など)</li> </ul> <p><b>【教室活動】</b></p> <p>①ことば・表現を提示し、絵や写真などで意味を確認し発音練習をする</p> <p>②自分の趣味を発表する 例)「私の趣味は映画です」「私の趣味は映画を見ることです」 スポーツ／旅行／音楽／ダンス／ゲーム／日本語／車を運転する／ 切手を集める／本を読む などの趣味もTが提示し練習する →会話例1</p> <p>③自分の趣味についてQ／Aをする Tが「趣味は何ですか」と聞きSが答える →会話例2</p> <p>④自分の好きなもの、嫌いなものを紹介する 例)「りんごが好きです」「トマトが好きじゃありません」「すいかが嫌いです」 果物／野菜／料理／動物などの中からTがことばを提示し(絵カード、 写真など使用)練習する →会話例3・4</p> <p>⑤自分の好きなこと、嫌いなことを紹介する 例)「音楽を聞くことが好きです」「車を運転することが嫌いです」 旅行をする／スポーツをする／テレビを見る／絵を描く／掃除をする などをTが提示し(絵カードなど使用)練習する →会話例5</p> <p>⑥「Nが得意です／苦手です」を提示する (自分自身については「上手」より「得意」のほうがいいことを説明する) 例)「兄は歌が上手です」「私はスポーツが苦手です」 日本語／ピアノ／サッカー／車の運転 などをTが提示し練習する →会話例6</p> <p>⑦会話例「趣味は何ですか」の場面、状況、内容を確認する 会話例をTが読み、練習をする</p> <p>⑧カタカナの拗音、促音の発音、読み書きの練習をする(食べ物、動物の鳴き声など)</p>





Aクラス 第14回	
目標行動	駅の券売機できっぷが買える
社会文化的情報	自動販売機について
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Vて形+ください</li> <li>・Vて形+います(動作の進行)</li> </ul>
ことば	開けます／閉めます 持ちます つけます／消します 乗ります／降ります 座ります／立ちます 入ります 待ちます 貸します 押します 窓 自動販売機
表現	買い方
会話例	<p>1. すみません、窓を開けてください。</p> <p>2. A：Cさんは何をしていますか。 B：今、教室で先生と話しています。</p> <p>「きっぷの買い方を教えてください」 リー：すみません。 きっぷの買い方を教えてください。 駅員：はい。どこまでですか。 リー：奈良までです。 駅員：奈良まで610円です。 ここに現金を入れてください。 リー：はい。(現金を入れる) 駅員：このボタンを押してください。 リー：はい。ありがとうございました。</p>
読む・書く	・カタカナ復習
文化庁カリキュラム 該当箇所	目的地に移動する

目標行動	駅の券売機できっぷが買える
授業の流れ	<p><b>【導入】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・券売機や自動販売機の写真を見せて、簡単に説明する</li> </ul> <p><b>【教室活動】</b></p> <p>①ことば・表現を提示し、絵や写真などで意味を確認し発音練習をする</p> <p>②て形を提示する「～てください」</p> <p>例) 暑いです→窓を開けてください／寒いです→窓を閉めてください</p> <p>「～てください」の「～て」の部分は「て形」であることを説明する</p> <p>③Vて形を作る練習をする(VグループⅡ→Ⅲ→Ⅰの順に練習する)</p> <p>Ⅱグループ 食べます→食べて 見ます→見て</p> <p>Ⅲグループ 勉強します→勉強して 来ます→来て</p> <p>Ⅰグループ 書きます→書いて 行きます→行って 泳ぎます→泳いで 飲みます→飲んで 遊びます→遊んで 帰ります→帰って 立ちます→立って 買います→買って 話します→話して</p> <p>既習V（絵カードなど使用）について変換練習をする</p> <p>④相手に頼む表現の練習をする「すみません、Vて形+ください」</p> <p>例) 「すみません、エアコンをつけてください」</p> <p>荷物を持ちます エアコンを消します 写真を撮ります 名前を書きます ペンを貸します などをTが提示し（絵カードなど）練習する →会話例1</p> <p>⑤「～ています」を提示する（動きながら進行中の動作を説明する）</p> <p>「これから名前を書きます」</p> <p>→名前を書く動作を見せながら「今書いています」</p> <p>→書き終えてから「名前を書きました」</p> <p>例) 「コーヒーを飲みます」→「コーヒーを飲んでいます」</p> <p>「本を読みます」→「本を読んでいます」</p> <p>⑥「今、何をしていますか」のQ/Aをする</p> <p>Tの動作を見てSが「～ています」と答える</p> <p>例) T「今、私は何をしていますか」</p> <p>S「ピアノを弾いています」</p>

食べます 寝ます 歌います 踊ります テニスをします 絵を描きます  
車を運転します 写真を撮ります などの動作を T が提示し S が答える

→会話例 2

⑦駅の券売機の使い方を紹介する

写真やイラストを使用する

⑧会話例「きっぷの買い方を教えてください」を T が読み、練習する

S どうして登場人物の役割練習をする

⑨日本の自動販売機と S の国の自動販売機について話す

⑩スーパーのチラシの中からカタカナ語をさがし、書き出して発表する



Aクラス 第15回	
目標行動	友達と住まいや仕事について話せる
社会文化的情報	訪問時の挨拶や習慣
指導内容	Vて形+います (習慣・状態)
ことば 表現	住みます 仕事をします 教えます 知ります 結婚します 大学 コンピューター 家事 北山 嵐山 ときどき いつか いらっしやい おじゃまします いただきます ごちそうさまでした
会話例	<p>1. 私は京都に住んでいます</p> <p>2. A: どこで日本語を勉強していますか。 B: 国際センターで勉強しています。</p> <p>3. A: お仕事は何ですか。 B: 教師です。英語を教えています。</p> <p>4. A: 国で何をしていましたか。 B: 銀行で働いていました。</p> <p>5. A: Bクラスの先生の名前を知っていますか。 B: はい、知っています。/いいえ、知りません。</p> <p>「友達を招く」</p> <p>A: Bさんのうちはどこですか。 B: 北山に住んでいます。 A: いいところですね。 B: 北山のケーキ屋で働いています。 ときどき図書館で勉強しています。 Aさんはどこに住んでいますか。 A: 嵐山に住んでいます。 B: どんなところですか。 A: きれいなところですよ。 いつか ぜひ来てください。</p>
読む・書く	漢字 (市、区、町)
文化庁カリキュラム 該当箇所	人とかかわる (人と付き合う)

Aクラス 第15回	
目標行動	友達と住まいや仕事について話せる
授業の流れ	<p><b>【導入】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今、日本で何をしているかを話す</li> </ul> <p><b>【教室活動】</b></p> <p>①ことば・表現を提示し、絵や写真などで意味を確認し発音練習する</p> <p>②京都の地図を見ながら、 「Tの家は〇〇(区、町)にあります。Tは〇〇に住んでいます」と提示し、 各Sに応じて順に「私は〇〇に住んでいます」を練習する →会話例1</p> <p>③Sはセンターで週2回日本語を勉強していることを説明し、 習慣的行為にも「Vて形+います」を使うことを説明する 「センターで日本語を勉強しています」の練習をし、場所やVを代入しながら S⇔SでQ/Aをする 例)「どこで日本語を勉強していますか」「国際センターで勉強しています」 →会話例2</p> <p>④「Tの仕事は教師です。英語を教えています」を例示する 仕事名とVを代入しながらQ/Aをする 例)「仕事は何ですか」「会社員です。コンピューターの会社で働いています」 「主婦です。家事をしています」「学生です。大学へ行っています」 「教師です。英語を教えています」 →会話例3</p> <p>⑤「今、仕事をしていません。国で英語を教えていました」で過去形を提示、 「国で英語を教えていました」の練習をする 職業を代入しながら、T→S→Sの順にQ/Aをする 例)「国で何をしていましたか」「大学で働いていました」 →会話例4</p> <p>⑥「知っています/知りません」を提示し、練習する 「住所を」「～さんの家を」「～さんを」「電話番号」などを代入しながら Q/Aをする 例)「～さんの電話番号を知っていますか」「はい、知っています」 「いいえ、知りません」 →会話例5</p> <p>⑦訪問時の絵カードやイラストを使って社会文化的情報を説明する、</p> <p>⑧会話例「友達を招く」の場面、状況、内容を確認する Tが読み、練習後、登場人物の役割練習をする ペアで応用練習をする</p>

Aクラス 第16回	
目標行動	自分の希望・要求を伝えることができる
社会文化的情報	日本の観光地
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Nがほしいです／ほしくないです</li> <li>・ NをVたいです／Vたくないです</li> <li>・ (場所) へVたいです／Vたくないです</li> <li>・ どこでNをVたいです</li> <li>・ (人) とVたいです</li> <li>・ 「どこか」と「どこへ」の違い</li> </ul>
ことば	こわれます ほしい デジタルカメラ (デジカメ) スマートフォン (スマホ) ゴールデンウィーク どこか 駅前 観光地 琵琶湖
表現	おなかがすきました のどがかわきました
会話例	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. わたしは新しいスマホがほしいです。</li> <li>2. A: 誕生日に何がほしいですか。 B: カメラがほしいです</li> <li>3. A: どんなカメラがほしいですか。 B: 軽いデジカメがほしいです。</li> <li>4. コーヒーを飲みたいです。</li> <li>5. A: おなかがすきましたね。 B: そうですね。何を食べたいですか。 A: お寿司を食べたいです。</li> <li>6. A: 休みの日にどこへ行きたいですか。 B: 美術館へ行きたいです。</li> <li>7. A: どこでスマホを買いたいですか。 B: 安い店で買いたいです。</li> <li>8. A: だれと沖縄へ行きたいですか。 B: 彼女(彼)と行きたいです。</li> <li>9. A: 休みの日にどこか行きますか。 B: いいえ、どこへも行きません。</li> </ol>



	<p>「新しいカメラがほしいです。」</p> <p>A：Bさん、ゴールデンウィークはどこか行きますか。</p> <p>B：いいえ、どこへも行きません。Aさんは。</p> <p>A：琵琶湖へ行きたいです。</p> <p>琵琶湖で船に乗りたいです。</p> <p>B：いいですね。</p> <p>A：写真をたくさん撮りたいです。</p> <p>でも、きのうカメラがこわれました。</p> <p>新しいカメラがほしいです。</p> <p>どの店がいいですか。</p> <p>B：駅前の店が安いですよ。</p>
読む・書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>カタカナの省略語（デジカメ スマホ エアコン パソコンなど）</li> </ul>
文化庁カリキュラム 該当箇所	<p>余暇を楽しむ「周囲の人からの口コミ情報を得る」</p>

Aクラス 第16回	
目標行動	自分の希望・要求を伝えることができる
授業の流れ	<p><b>【導入】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型電気店、スーパーなどのチラシを見ながら、Tがほしいものを提示する</li> </ul> <p><b>【教室活動】</b></p> <p>①ことば・表現を提示、絵や写真などで意味を確認し、発音練習する</p> <p>②割れたカップなどの絵を示して「新しいカップがほしいです」を提示する Nの絵や写真を見て「Nがほしいです」の練習をする →会話例1</p> <p>③「誕生日に何がほしいですか」「Nがほしいです」を練習する T→S1 S1→S2 S2→S3のように順番にQ/Aをする →会話例2</p> <p>否定形「Nがほしくないです」も練習する 「ほしい」は いadj.なので否定形は 「ほし<del>い</del>→く<del>ない</del>です」となることを説明する</p> <p>④「どんなNがほしいですか」「～Nがほしいです」を提示する 例)「何がほしいですか」「Nがほしいです」「どんなNがほしいですか」 ほしいNについてTがSに質問する →会話例3</p> <p>⑤「お腹がすきました」や「のどがかわきました」の絵カードを見せて、 「ごはんを食べたいです」「水を飲みたいです」を提示する 「Nを食<del>べ</del>ます」→「Nを食べたいです」を説明する Vを絵や文字カードで示し、「NをVたいです」の言い換え練習をする →会話例4</p> <p>否定形「Vたくないです」も練習する Vの絵カードや文字カードを提示して「Vたくないです」の口慣らし練習をする</p> <p>⑥「何をVたいですか」を提示する 例) カタログやチラシを見ながら「何を買いたいですか」「～を買いたいです」 などVやNを入れかえてQ/Aをする メニューを見ながら「何を食<del>べ</del>／飲<del>み</del>たいですか」「Nを食<del>べ</del>／飲<del>み</del>たいです」 などQ/Aをする →会話例5</p> <p>⑦「どこへ行きたいですか」を提示する 例)「(日曜日) どこへ行きたいですか」「～へ行きたいです」 ( )を入れかえて、T→S S→SでQ/Aをする →会話例6</p> <p>⑧まとめとして、「何を～」 「どこへ～」 「どこで～」 「誰と～」 などVやNを 入れかえてT→S、S どうしでQ/Aをする →会話例7 →会話例8</p> <p>⑨「どこか行きますか」「いいえ、どこへも行きません」を提示する T→Sで練習する →会話例9</p>

- |  |   |
|--|---|
|  | <p>⑩会話例「新しいカメラがほしいです」の場面、状況、内容を確認する<br/>会話例をTが読み、練習する<br/>S どうして登場人物の役割練習をする</p> <p>⑪日本のおもな観光地について質問し、行ったことがあるか、どこへ行きたいか<br/>S どうしてQ/Aをする</p> <p>⑫カタカナの省略語を紹介する</p> |
|--|---|

Aクラス 第17回	
目標行動	ゴミの出し方を尋ねることができる
社会文化的情報	ゴミの分別の仕方 (地域の清掃局のパンフレット、指定ゴミ袋、分別の仕方・ゴミ収集方法が市町村や地域によって異なることなど)
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Vて形+もいいですか</li> <li>・どうしてですか</li> <li>・～から (理由)</li> </ul>
ことば 表現	出します 入れます 分けます 捨てます 引越し 燃やすゴミ カン ビン ペットボトル 資源 分別 リサイクル 袋 ゴミ箱 ゴミ置き場 パンフレット だめです
会話例	<p>1. A:ここに座ってもいいですか。 B:ええ、いいですよ／はい、どうぞ。</p> <p>2. A:写真を撮ってもいいですか。 B:すみません、ちょっと…。</p> <p>3. A:明日休んでもいいですか。 B:どうしてですか。 A:引越しをしますから。</p> <p>「今日カンを出してもいいですか」 ミラー :おはようございます。今日カンとビンを出してもいいですか。 山田 :いいえ、今日はだめです。 カンとビンは水曜日ですから。 ミラー :わかりました。ありがとうございました。</p>
読む・書く	・漢字 (月 火 水 木 金 土 日)
文化庁カリキュラム 該当箇所	社会の一員となる「地域社会のルール、マナーを守る」

Aクラス 第17回	
目標行動	ゴミの出し方を尋ねることができる
授業の流れ	<p><b>【導入】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵や写真などで、ゴミにはいろいろな種類があることを示し、出し方が異なることを説明する</li> </ul> <p><b>【教室活動】</b></p> <p>①ことば・表現を提示し、絵や写真などで意味を確認し、発音練習する</p> <p>②「Vて形もいいですか」の用法を説明する。      例) 窓を開けます+いいですか→窓を開けてもいいですか      既習Vの絵カードやフラッシュカード「～てもいいですか」の口慣らし練習をする</p> <p>③「～てもいいですか」を使ってQ/Aをする      TがSの間をまわって、それぞれのSに応じたQ/Aをする      「～は、ちょっと…/すみません、ちょっと」などは、      断りの言葉であることも紹介しておく →会話例1</p> <p>④「～てもいいですか」を使う場面の絵を示して、T→Sの後、S→SでQ/Aをする →会話例2</p> <p>⑤「～から」(理由)の例をたくさんあげて、用法を説明する      例) 窓を開けます。暑いからです。      京都駅へ行きます。友達が来ますから。      コートを着ます。寒いからです。</p> <p>⑥「どうしてですか」「～ですから」を提示して説明する      例) 「帰ってもいいですか」「どうしてですか」「友達が来ますから」      「テレビを消してもいいですか」「どうしてですか」「電話をしますから」      Tがキューを出して、SにQ/Aを促す →会話例3</p> <p>⑦会話例「今日カンを出してもいいですか」の場面、状況、内容を確認する      Tが読み、発音練習をする      Sどうして登場人物の役割練習をする</p> <p>⑧①で提示したゴミの種類と収集曜日を記した簡単なパンフレットを見て、パンフレットを持っていないSと持っているSがQ/Aをする      例) 「金曜日にペットボトルを出してもいいですか」      「ええ、いいですよ/だめです。ペットボトルは水曜日ですから」</p> <p>⑨漢字(月 火 水 木 金 土)は意味理解を中心とする</p> <p>⑩地区の役所へゴミ出しのパンフレットを取りに行くのを宿題にしてもよい</p>

Aクラス 第18回	
目標行動	人を誘ったり、人の誘いを受けることができる
社会文化的情報	地域の行事やお祭りについて
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(場所)で(催し)があります</li> <li>・V+ませんか</li> <li>・V+ましょう</li> <li>・(場所)へN/Vに行きます</li> </ul>
ことば	<p>会います (お金を)おろします  ブラジル オリンピック (お)祭り 花火 紅葉 週末 桜まつり  中央改札口</p>
表現	<p>地蔵盆 公民館 円山公園 午前中  大丈夫です 楽しみです</p>
会話例	<p>1. 2016年にブラジルでオリンピックがあります。  2. A: 来週の土曜日、琵琶湖で花火があります。  いっしょに琵琶湖へ行きませんか。  B: いいですね/すみません、ちょっと。  3. A: いっしょにサッカーを見ませんか。  B: いいですね、いっしょに見ましょう。  4. A: 週末は何をしましたか。  B: 大阪へ買物に行きました。  5. 京都へ桜を見に行きました。</p> <p>「いっしょに行きませんか」  田中: リーさん、明日、円山公園で桜まつりがあります。  いっしょに桜を見に行きませんか。  リー: いいですね。あした何時ですか。  田中: 10時ごろはどうですか。  リー: すみません、午前中はちょっと。午後は大丈夫です。  田中: そうですか。じゃ、午後2時ごろは。  リー: はい、いいですよ。  田中: 京都駅の中央改札口で会いましょう。  リー: わかりました。楽しみです。  田中: じゃ、あした京都駅で。</p>
読む・書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字 (中央改札口)</li> </ul>
文化庁カリキュラム 該当箇所	自身を豊かにする「余暇を楽しむ」

目標行動	人を誘ったり、人の誘いを受けることができる
授業の流れ	<p><b>【導入】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本や地域での行事（地藏盆、運動会、文化祭など）や祭り（三大祭など）を写真や絵で紹介する</li> <li>・自国の行事や祭りについて聞く</li> </ul> <p><b>【教室活動】</b></p> <p>① ことば・表現を提示し、絵や写真などで意味を確認し発音練習をする</p> <p>② 「(場所)で(催し)があります」を提示する          例)「清水寺で紅葉まつりがあります」「公民館で料理教室があります」          Sが自国の行事や祭りについて発表する          例)「10月にドイツでビール祭りがあります」など →会話例1</p> <p>③ 「Vませんか」を提示する          例)「京都へ行きます」 → 「いっしょに京都へ行きますか」          お茶を飲みます 料理をつくります 日本語を勉強します 買い物へ行きます          テレビを見ます 歌います 音楽を聞きます などをTが提示し(絵カードなど使用) 練習する →会話例2</p> <p>④ 「Vましょう」を提示する          例) T「いっしょに京都へ行きますか」          S「はい、行きます」 → 「ええ、行きましょう」          大阪へ行きます テニスをします 宿題をします などの文を使いTが「～ませんか」とSを誘う。Sは「～ましょう」で答える          同様にSどうしで練習する →会話例3</p> <p>⑤ 「(場所)へNに行きます」を提示する          例)「京都へ行きます。買い物します」 → 「京都へ買い物に行きます」          大阪へ行きます・遊び 公園へ行きます・散歩 図書館へ行きます・勉強          などTが提示し(場所名と何をしに行くかヒントになる絵やパンフレット、地図などを使用)Sが文をつくる →会話例4</p> <p>⑥ 「(場所)へVに行きます」を提示する          例)「京都へ行きます。祇園祭を見ます」 → 「京都へ祇園祭を見に行きます」          スーパー、銀行、図書館、〇〇電器店、などTが場所名(明らかに何をするかわかる場所)を与えSが文をつくる →会話例5</p> <p>⑦ 会話例「いっしょに行きますか」の場面、状況、内容を確認する          会話例をTが読み、練習をする</p> <p>⑧ 応用会話(1週間の予定が書き込めるようなシートを準備する)          シートに各自1週間の予定を書き込む          ペアになりお互いの予定を聞きながら「いっしょに行きますか」「いつがいいですか」「～曜日はちょっと…」などの表現を使い、2人で行くところや日時を決める相談をする          決まったら、行く場所、日時、目的などを発表する</p> <p>⑨ 漢字(中央改札口)の読みを確認する</p>

Aクラス 第19回 (前期)	
目標行動	警察 (110 番) に被害を報告する 警察署の講習を受ける
社会文化的情報	交通ルール
指導内容	・警察への被害届の出し方
ことば 表現	財布 落とします 何が入っていましたか いくら入っていましたか 見つかったら
会話例	「交番で」 警官 : どうしましたか。 外国人 : 財布を落としました。 警官 : どこで落としましたか。 外国人 : わかりません。 警官 : どんな財布ですか。 外国人 : 赤い財布です。 警官 : 何が入っていましたか。 外国人 : お金とカードです。 警官 : いくら入っていましたか。 外国人 : 5000 円ぐらいです。 警官 : あなたのお名前は。 外国人 : ○○です。 警官 : 住所は。 外国人 : ○○市○○区○○町です。 警官 : 電話番号は。 外国人 : 000-1234-5678 です。 警官 : 見つかったら、電話します。 外国人 : ありがとうございます。よろしくお願いします。
読む・書く	・自分の名前と住所と電話番号
文化庁カリキュラム 該当箇所	健康、安全に暮らす「事故に備え対応する」



Aクラス 第19回 (警察)	
目標行動	警察（110番）に被害を報告する 警察署の講習を受ける
授業の流れ	<p><b>【導入】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>被害の様子など写真や絵カードで紹介する</li> </ul> <p><b>【教室活動】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 事故、被害時のことばや表現を理解する（対訳）</li> <li>② 名前、住所、電話番号を言えるようになる</li> <li>③ 会話例をもとに練習する</li> <li>④ 警察署の話聞く（通訳付き）</li> <li>⑤ 警察官と実際にやり取りする</li> </ol>

Aクラス 第19回 (後期)	
目標行動	消防 (119 番) に緊急通報する 消防署の講習を受ける
社会文化的情報	災害時の対応
指導内容	・ 消防への通報の仕方
ことば 表現	燃えます 近く 火事 消防 救急 外国人 やけど けがをされた方 逃げ遅れた方 おかけの電話番号は 目標になるもの
会話例	「火事」 消防 : 119 番消防です。火事ですか。救急ですか。 外国人 : 火事です。私は、外国人です。 消防 : 何が燃えていますか。 外国人 : 部屋が、燃えています。 消防 : あなたのお名前と住所を教えてください。 外国人 : ○○です。住所は○○市○○区○○町です。 消防 : 家の近くに何か目標になるものはありますか。 外国人 : コンビニがあります。 消防 : けがをされた方や、逃げ遅れた方はありませんか。 外国人 : 手にやけどをしました。 消防 : 今、おかけの電話番号は。 外国人 : 000-1234-5678 です。 消防 : わかりました。すぐ行きます。
読む・書く	・ 自分の名前と住所と電話番号 ・ 漢字 (非常口)
文化庁カリキュラム 該当箇所	健康、安全に暮らす「災害に備え対応する」

Aクラス 第19回	
目標行動	消防（119番）に緊急通報する 消防署の講習を受ける
授業の流れ	<p><b>【導入】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故や災害の様子を写真や絵カードで紹介する</li> </ul> <p><b>【教室活動】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①事故、災害時のことばや表現を理解する（対訳）</li> <li>②名前、住所、電話番号を言えるようになる</li> <li>③会話例「火事」をもとに練習する</li> <li>④消防署の話聞く（通訳付き）</li> <li>⑤電話を使い通報練習をする</li> </ol>

Aクラス 第20回	
目標行動	人の前でまとまった話ができる
社会文化的情報	日本の歌、遊び 修了証書授与式のマナー
指導内容	・スピーチの原稿を正しく書き、話す
ことば・表現	
スピーチ例	<p>私の名前はビルです。私の友達はキムさんとトムさんです。トムさんと一緒に日本に来ました。キムさんは面白いです。そして親切な人です。</p> <p>キムさんは日本語教室の友達です。とても楽しい人です。僕達は一緒にサッカーで遊んでいます。僕はスポーツが好きです。でも上手じゃありません。</p> <p>私の国はきれいです。料理が有名です。私の町もきれいです。でもうるさいです。</p> <p>私は学生です。京都の美術大学で勉強しています。アーティストになりたいです。</p> <p>私は9月に日本に来ました。日本語がわかりませんでした。でも、今日本語を話すことができます。</p> <p>先生、皆さんお世話になりました。ありがとうございました。</p>
読む・書く	・漢字（出席 様 修了証書 理事長）
文化庁カリキュラム 該当箇所	人と付き合う

Aクラス 第20回	
目標行動	人の前でまとまった話ができる
授業の流れ	<p><b>【スピーチの事前準備】</b></p> <p>最終回にスピーチがあることを第15回目に伝え原稿作成を宿題としておく          テーマは自由に決めるが、日本での体験談や日本の感想、自国のこと将来の夢など          ヒントを出しておく</p> <p>できるだけ原稿を見ないで話すよう勧めておく          写真や冊子などを見せながら話すのも互いにリラックスして楽しめるよう勧めておく          16回目から18回目位に原稿を回収しチェックする</p> <p>聞いているSも理解できるよう易しく自然な日本語に直すが、できる限り原文を          いかすことに留意する</p> <p><b>【導入】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当日のスケジュール(スピーチ、茶話会、修了証書授与)について伝える</li> </ul> <p><b>【教室活動】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①スピーチをする              順番はくじかジャンケンで決める。</li> <li>②修了証書に記載の漢字(出席 様 修了証書 理事長)の意味を説明する</li> <li>③証書授与時の日本式受け方について説明する</li> <li>④修了証書を授与する</li> <li>⑤茶話会をする              今後の予定や、日本、自国についてなどの情報交換を自由に話し合ってもよいが、              クラスのよっては沈滞する場合もあるので、皆で楽しめることを用意しておく              例) 日本語を使える簡単なゲーム(伝言ゲームや文整序ゲーム、位置詞の復習が              できる福笑いなど)              知っている日本の歌や自国の歌、可能であればかくし芸などを披露する</li> </ol>